

ModelClient

Model名の一部の文字列を入力してモデル名を検索します。

モデル名検索時実行ボタ

条件式リスト
ダブルクリックすると、右側のフィールドに条件内容がコピーされます。
条件を編集する時は、ダブルクリックして、CC Removeを押して、条件内容を編集して、

入力した条件式を条件

条件式リストで選択された

条件の項目を指定します。モデルに属する現象型がリストアップ

条件の値を比較子と共に記述します。(条件式に右辺と比較子)*注

条件項目がCategoryのときに選択できる定数名をリストアップします。条件項目がDate型のときに現在の日付・日時をリストアップします。選択すると、イコールと値を上側のフィールドにセットします。

データ検索ボタン、条件を加

表示したデータの行数と実際のデータ行数を表示します。

表示モデルの新規のデータ登録画面をポップアップさせます。

モデル選択時、データ検索ボタンを押された時に、データを表示します。
データの行を選択すると、こちらのテーブルに1行分のデータを縦に表示します。
一行表示を選択すると、下部のデータ修正フィールドにデータを

表示データのCSVファイルを書き出す

表示データのUpdatableをプロパティ形式のファイルで書き出します

1行分表示テーブルクリック時に現象型の詳細情報を表示します

1行分表示テーブルのProxy現象型をダブルクリック時、該当Proxyが示すモデルのデータ内容をモデル表示画面に

データ修正フィールド

データ修正フィールドがCategoryのときに選択できる定数名をリストアップします。選択すると、フィールドにセットしま

モデル一覧に表示してあるモデルのプロパティ形式のダンプを行います

1行分のデータ表示テーブル
COLUMN, ALIAS, PROCEDUREを表示

データ修正フィールドに
今日 (yyyy/MM/dd)

データ修正フィールドに
今 (yyyy/MM/dd HH:mm:ss)

データ修正フィールドの

検索条件

Ptype	Condition
PtypeTypeCategory	= COMBINATION

PtypeNo	Ptypeid	PtypeName	PtypeTypeC...	PtypePatter...	MultipleFlag	PtypeDispN...	PtypeColu...	PtypeColu...	PtypeColu...	Pty...
1943	PT_20083	User Project...	COMBINATL	PEXA	SINGLE	ログインユー...				
1944	PT_20084	ModelModel	COMBINATL	PEXA	SINGLE	モデル定義...				
1945	PT_20085	ModelPtype...	COMBINATL	PEXA	MULTIPLE	現象型リスト				
1946	PT_20086	ModelIndexM...	COMBINATL	PEXA	MULTIPLE	DBインデッ...				

Ptype	Value
PtypeNo	1943
Ptypeid	PT_20083
PtypeName	User ProjectMaster
PtypeTypeCategory	COMBINATION
PtypePatternCategory	PEXA
MultipleFlag	SINGLE
PtypeDispName	ログインユーザプロジェクト関係
PtypeColumnName	
PtypeColumnTypeCategory	
PtypeColumnSize	
PtypeAbstractText	ログインユーザプロジェクト関係
PtypeDescriptionText	
ProxyNo	
PhenomenonNo	
PtypeClassName	
ModelNo	303
ModelID	User ProjectMaster
PtypeValidationMinimum	
PtypeValidationMaximum	
ProjectNo	9800
Creator	9000
CreateDatetime	2007/10/12 15:05:33
LastUpdater	9000
LastUpdateDatetime	2007/10/12 15:05:33
Remover	
RemovedDatetime	

*注1 現行使用できる比較子(比較演算子)は以下のものです。
 “=,!=,>,<,>=,<=,is null,is not null,like”
 比較子と比較値の間には必ずスペースを1個おく必要があります。
 比較値はスペースを含む文字列を検索することができません。
 現象型が、Categoryの場合は、現象の定数名を指定する必要があります。値では指定できません。
 現象型が、Date型の場合は、2007/11/08:10:34:58のようにyyyy/MM/dd:HH:mm:ssで指定します。日と時の間に(コロン)必要ですので注意してください。
 また、時刻(秒)まで比較する時は、以下のような条件を指定する必要があります。
 CreateDatetime >= 2007/10/03:23:43:48
 CreateDatetime < 2007/10/03:23:43:49

- 例外が発生する場合のチェックについて
- 1)モデルに含まれる現象型の存在チェックをしてください。
 - 2)モデルとテーブルのカラムがあっているか確認してください。
 - 3)モデルの定義をチェックしてください。

モデル新規データ登録画面

データ登録一覧テーブル
データ追加する現象型を選択します。初期表示時は先頭の現象型を選択している状態になっています。選択した現象型にデータが登録済みの場合は、データ登録フィールドに表示されます。

Ptype	Value
PTypeID	
PtypeName	
PtypeTypeCategory	
PtypePatternCategory	
MultipleFlag	
PtypeDispName	
PtypeColumnName	
PtypeColumnTypeCategory	
PtypeColumnSize	
PtypeAbstractText	
PtypeDescriptionText	
ProxyNo	
PhenomenonNo	
PtypeClassName	
ModelNo	
ModelID	
PtypeValidationMinimum	
PtypeValidationMaximum	
ProjectNo	
Creator	
CreateDatetime	
LastUpdater	
LastUpdateDatetime	
Remover	
RemovedDatetime	
ValidityFlag	VALID

(PTypeID: observation_type, display_name: MEASUREMENT, sort_name: "現象型識別子", single_flag: true, value_type_name: java.lang.String, column_name: PTYPE_ID, column_type: varchar, target_value_type_name: java.lang.String)

Buttons: Today, Now, Commit, Clear, Close

データ登録一覧テーブルクリック時に現象型の詳細情報を表示し

データ登録フィールド

データ登録フィールドがCategoryのときに選択できる定数名をリストアップします。選択すると、フィールドにセットしま

データ登録フィールドの画面をクローズします。

データ登録フィールドに今日(yyyy/MM/dd)

データ登録フィールドに今(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)

登録内容をクリアします。

登録した内容をコミットします。コミット後は、登録内容表示

OKボタンによって、データ内容を登録しますが、同時に登録現象型を一つ下を現象型に選択が移動されます。よって、いちいちデータ登録一覧テーブルを選択しなくても順番に登録することができます。

モデル表示画面

Ptype	Value
ProjectNo	9800
ProjectName	SYSN2
ProjectDescriptionText	SYSN2 A
ProjectID	PRJ_901
Creator	9000
CreateDatetime	2007/10/01 00:00:00
LastUpdater	9000
LastUpdateDatetime	2007/10/01 00:00:00
Remover	
RemovedDatetime	
ValidityFlag	VALID
RemovedFlag	NOT_REMOVED
VersionNumber	1

Close

データテーブルクリック時に現象型の詳細情報を表示します

データテーブルのProxy現象型をダブルクリック時、該当Proxyが示すモデルのデータ内容をモデル表示画面に

画面をクローズします。